

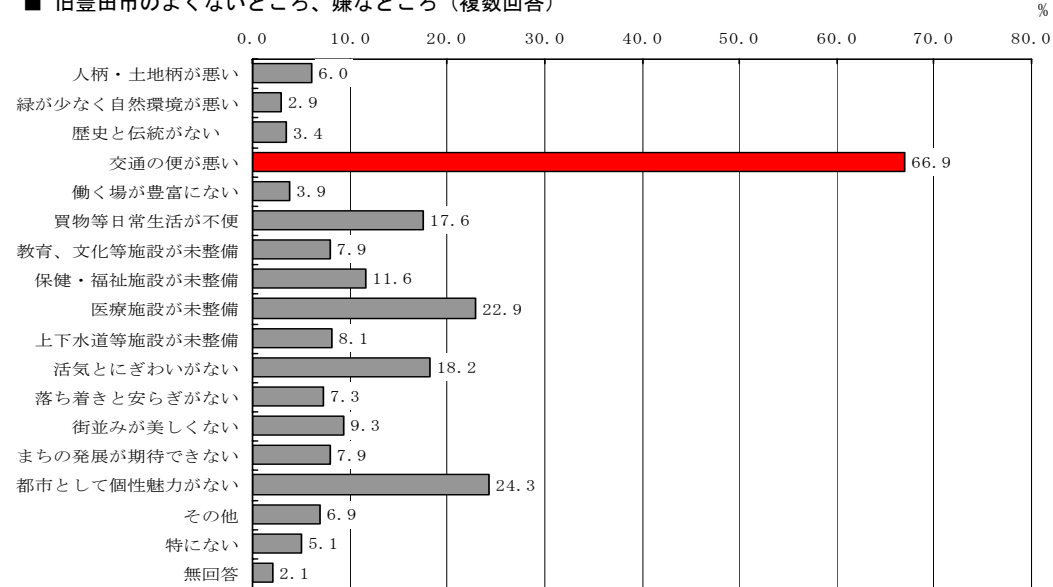
◆ 5. 交通に関する住民意識調査

(1) 旧豊田市市民意識調査※（平成 15 年度調査）

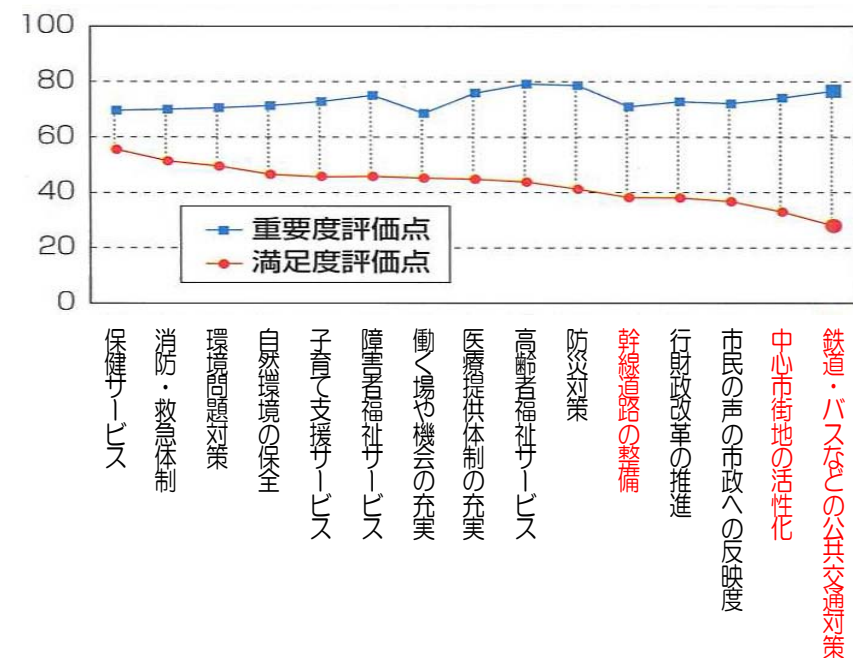
- ▶ 豊田市のよくないところ、嫌いなところとして「交通の便が悪い」が最も高い値を示している。これは、他の項目と比べても倍以上に高く、市民は交通の便に対して高い不満をもっていると考えられる。
- ▶ また、鉄道・路線バスの利用は1年に数回の利用か全く利用しない人が多く、公共交通の利用が極めて低いことが伺える。
- ▶ 鉄道・路線バスを維持していくために市が取り組むべきこととしては、「交通事業者を支援する」と「市が主体となって運行する」が最も多く、何らかの支援が必要であると考えている。

※豊田市市民意識調査：市内居住者約 5000 人（無作為抽出）に対して毎年実施しているアンケート調査で住民ニーズの把握や行政評価に利用している。なお、合併後の新市としての同様の調査を継続し、H17.10 に実施を予定している。

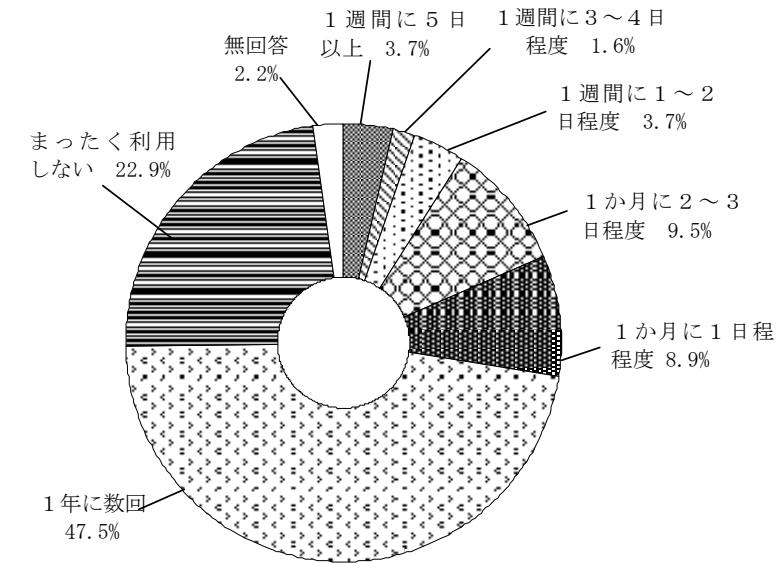
■ 旧豊田市のよくないところ、嫌なところ（複数回答）



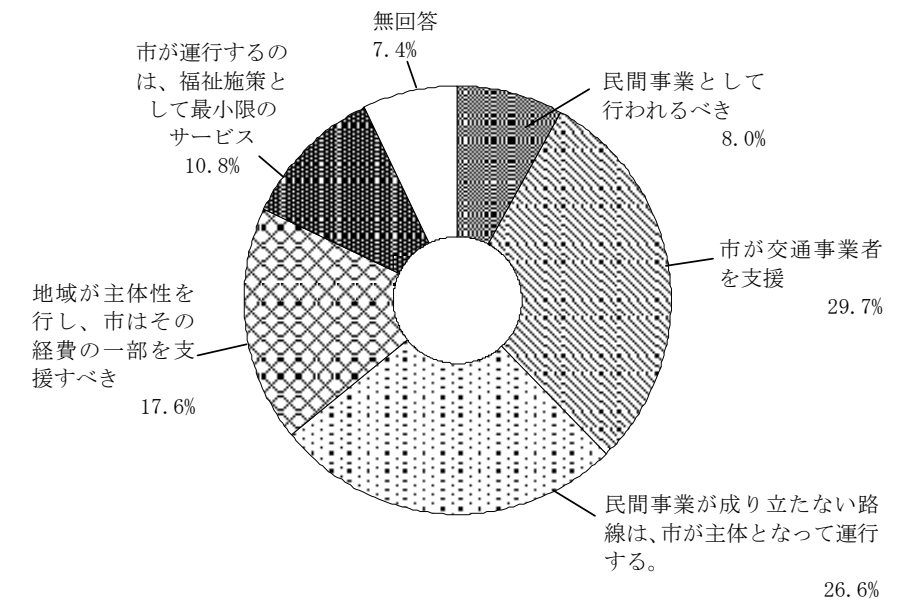
■ 旧豊田市の施策別満足度と重要度



■ 鉄道・路線バスの利用状況



■ 鉄道・路線バス維持のために必要な取組



(2) 今後実施する調査予定

これまでに、旧豊田市及び三好町では継続的な市民意識調査が行われており、バス交通に関しても、旧豊田市内の名鉄バスや三好町さんさんバスの利用者に対するアンケート調査が行われている。

今年度には、新豊田市における市民意識調査に加え、旧町村地域住民に対する人の動き調査（実施済み）、さらに、前記バス利用者以外に行政が関与しているバス利用者に対しても実態調査を行う予定である。これらの調査結果も踏まえ、再度、住民・利用者意識やニーズを把握し、豊田・三好1次交通圏計画に反映させるものとする。

◆ 6. 今後の進め方

【今年度の調査項目と流れ】

